

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 9 月 5 日  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-3826  
ki-somu@city.yokohama.jp



【TICAD VI ジャパンフェアの様子】

## フィリピンにおける技術協力の 推進に向けた協議を実施

7月28日から8月3日まで、国際局職員がフィリピン共和国マニラ市及びセブ市を訪問しました。

マニラでは、アジア開発銀行（ADB）本部を訪問し、5月に更新した覚書に基づく技術協力や来年度横浜で開催予定のADB総会でのインフラ関係の取組について協議を行いました。

また、セブ州知事及び市長への表敬訪問等を行い、本市が進めている技術協力について意見交換を行ったほか、現地インフラ関連施設の視察を行いました。



（セブ州知事面会）



（セブ市長面会）

## シンガポール幹部候補生視察団 が来浜されました

8月29日に、シンガポール国土機関長官を団長とする政府幹部候補職員総勢40名が来浜しました。横浜が持つ都市計画、環境対策、緑化事業の知見を共有するため、昨年3月に続き2度目の来浜となります。

みなとみらい21地区の都市開発、環境にやさしい総合空調管理システム、山下公園をはじめ市内の各公園で展開される緑と花の整備事業、全国都市緑化横浜フェアの取組、港北ニュータウンにおけるグリーンマトリックスシステムを取り入れたまちづくりなど、たくさんの視察を行いました。



## TICAD VIで横浜をアピールする とともに、次回会議誘致を表明

林市長は、第6回アフリカ開発会議（TICAD VI）開催にあわせ、ケニア・ナイロビを訪問しました。

現地では、「女性の社会経済開発改善サイドイベント」、「日・アフリカ官民インフラ会議」、「廃棄物管理セミナー」の3つのTICAD VI サイドイベントでそれぞれ英語でプレゼンテーションを行い、横浜の女性活躍推進の取組や都市開発の経験、アフリカとのつながりを紹介しました。また、展示会「ジャパンフェア」では、横浜企業と連携し、横浜のアピールを行いました。

さらに林市長は、こうした成果と平成20、25年の第4回、5回会議の横浜開催の経験を土台に、平成31年に日本で開催予定の次回第7回会議（TICAD VII）の開催都市に横浜市が立候補し、今後誘致に取り組んでいくことを表明しました。



（「女性の社会経済開発改善サイドイベント」でのスピーチ）